

どけん 共済会発
どけん火災&
地震共済

多くの仲間の加入で 制度の充実・発展を

ただいま
秋の
共済推進
月間中

「もの凄く助かった」 豊島支部の青山日出男さん

昨年11月25日、豊島支部の青山日出男さん(大工)は自宅を火災に見舞われました。2階にある電気ストーブの延長コードのコンセントが劣化していたのが原因。近くの現場にいた青山さんに、奥さんのしづかさんから「ストーブが消えた」という電話が入り、ブレーカーを上げるよう指示したところ発火、火災に至ったとのこと。



「加入していて良かった」という青山さん

10分ほどで青山さんが駆けつけた時には、2階はもう煙で見えなくなっており、しづかさんは顔と手に火傷を負いました。ベランダにある水道を使って消火を行いましたが、火が上がっているといけないとのこと、2階の天井は全部壊されたそうです。



消火の際、天井は壊され屋根裏が剥き出しに

被害は10㎡、燃焼のほか、油煙・消火汚損や消防破壊による損害でしたが、住宅・家財あわせて1000万円超がどけん火災共済から給付されました。「言葉では言い表せないほど助かった」と、青山さんは振り返ります。

組合員は入って おいた方がいい

分会や支部の役員を歴任してきた青山さんは、火災共済立ち上げ当初から建物・家財(現在は地震共済も)あわせて満額契約していました。そのおかげもあって今回の件では救われました。

共済会と支部の担当者が現場を確認しに来た時も「ものすごく助かった」と青山さん。まず最初に、罹災証明を早くとるようアドバイスを受け、その後も、罹災証明の書き方などを詳しく教えてもらったとのこと。その後、火事を起こした仲間に罹災証明の書き方を教えたこともあった。

安い掛金早い給付 仲間の生活再建に寄与

どけん火災共済は、東京土建が直接運営する共済制度。組合員や二等親以内の親族が所有する自宅・別荘、他人に貸している家(家財のみ)が火災・自然災害等の被害を受けた際に保障するものです。さらに建設業にかかわる事務所、作業場(住宅のみ)や組合員個人が元請人の新築・増築中の建物も保障対象になります。

どけん火災共済

仲間の住宅・家財を安い掛金で保障

家財のみでも加入可能。

- 年間6,000円の掛金で1,000万円の保障(木造・100口の場合)
- 66%以上の被災で全焼給付
- 標準的な価格で保障

住宅の構造	年掛金(1口あたり)	最高保障額
木造等	60円	6,000万円(600口加入時)
鉄筋コンクリート	30円	

どけん地震共済

生活再建を「助け合い」で応援

どけん火災共済に加入している持ち家・賃貸住宅(組合員居住)が加入できます。

- 年間6,600円の掛金で200万円の保障(木造・40口の場合)
- 自治体の発行する罹災証明書の記載によって全壊(1口5万円)～一部壊(1口1,500円)で保障

住宅の構造	年掛金(1口あたり)	最高保障額
木造等	165円	1,200万円(240口加入時)
鉄筋コンクリート	100円	

はもとより、近年多発する自然災害による住宅被害に遭われた組合員の生活再建に、なくてはならない制度です。どけん火災共済に加入して仲間同士の助け合い制度をさらに充実・発展させましょう。

また、すでに50口で加入している皆さん。居住実態に合わせて増口を検討してはいかがでしょうか。

「万が一」の時の更新漏れを防ぐため、この機会に、口座登録も合わせてお願いいたします。キャンペーン期間中(2023年12月まで)に口座登録された方には、もれなく500円のクオカードを進呈します。

地震もセットで 万全の備えを

関東大震災からちょうど100年を迎えました。地震への備えは万全でも、大地震から自宅ごと避難することはできません。そんなときに役立つのが「どけん地震共済」。

5組合キャンペーンで 豪華賞品をゲット

5組合キャンペーンを実施、豪華な景品も準備していますので、何も加入していない仲間もぜひ、この機会に加入をご検討ください。



火災共済に参加している5組合で、会津コシヒカリやJTBえらべるギフトなどが当たるキャンペーンを9月から12月まで実施します。

応募対象は、期間中の新規加入者を含む火災・地震共済加入者となります。新規加入や増口、口座登録などと呼びかける際にお知らせし、対話をすすみましょう。

詰将棋の解答

▲3三銀成△同桂▲一三金△同玉▲三一角△二三玉▲二二角成まで7手詰。

優れた制度広めて 組合のメリット実感を

【本部厚生文化部長・市川亨記】仲間の皆さん、秋の火災・地震共済の推進月間が始まりました。今回の月間では、事業所の従業員や若手・子育て世代の仲間に、どけん火災・地震共済の優れた制度内容を知ってもらうことで組合に入っているメリットを大いに実感してもらい、その中で加入につながれば幸いです。



市川さん

現在、各地で自然災害が頻発し、いつ被害がおきてもおかしくない状況です。被災した際に火災共済に加入してい

たつものが更新もれに...という事態を避けるために、口座登録をすすめています。今回、口座登録した仲間にキャンペーンで500円のクオカードを進呈しています。ぜひ、状況を確認してもらい、早急に口座登録をすすめることも、居住実態にあわせて口数の見直しを検討してみませんか。賃金上昇に追いつかない物価高騰、社会保障の改悪や増税の影響で仲間の可処分所得(自由に使えるお金)が減っています。民間損保は自然災

害の多発で給付が増え、その穴埋めをするために3年で30%掛金を引き上げ、加入者に負担を求めました。そのような中で、どけん火災・地震共済は、もともと安いです。制度開始以来20余年、掛金は据え置いています。皆さんが加入している保険を今一度点検して、どけん火災共済・地震共済に切り替えて、可処分所得を増やしてみませんか。

また、今年いっぱい火災・地震共済をともに支えている